



左からイオンリテール株式会社:岡澤執行役員/かながわ西湘農業協同組合:鈴木部次長/開成町:府川町長/開成弥一芋研究会:遠藤会長/神奈川県農業技術センター:菊池所長

みんなに
食べてもらいたい

開成弥一芋

やいも芋

産業振興課 ☎84-0317

全国ブランドへ

弥一芋の生産・流通・販売を推進するため、イオンリテール株式会社（本社・千葉県千葉市）の「フードアルチザン（食の匠）」に位置付け、各関係機関である開成町、開成弥一芋研究会、かながわ西湘農業協同組合、神奈川県及びイオンリテール株式会社が一体となって取り組む「開成弥一芋ブランド化推進協議会」を設立しました。

9月27日（金）に開成町民センターで行われた設立総会・趣意書締結式では、各機関の代表者が趣意書に署名しました。弥一芋の「うまさ」を伝え、生産の拡大や販売促進などをめざします。これから、関係機関から提言や支援を受けて、弥一芋の魅力を次代に継承していく活動をすすめます。

町では、平成23年度に「弥一芋リバイバルプロジェクト」を立ち上げ、町由来の里芋「弥一芋（やいも）」の特産化・ブランド化を推進しています。

「フードアルチザン（食の匠）活動」とは

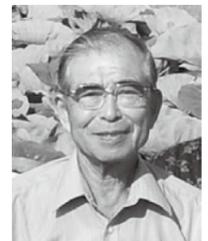
イオンリテール株式会社の活動で、地域の食文化の保護・保存の支援を行い、全国へ発信する取り組みのことです。

イオンリテール株式会社によるフードアルチザン活動は、現在、全国に25の事例があり、弥一芋の取り組みは、神奈川県内で初めてのものです。

弥一芋とは

「弥一芋」は、明治36年に、開成町出身の高井弥一郎さんが小田原から入手した種芋を開成町で栽培したのがきっかけで、作られるようになりました。他の芋より食味が優れ、ねっとりとした旨みがあります。親せきや近所に配ったことで一気に広まり、戦前は、関東一円で栽培されていました。しかし、戦後は水稲作に押されて生産量が激減し、開成町でもごくわずかな農家が栽培するのみとなりました。

開成弥一芋ブランド化推進協議会設立は、町のご支援、県・JAのご指導のおかげと深く感謝しております。開成弥一芋研究会としましては、これを励みにして、一層仲間を増やして、弥一芋の栽培技術を向上させ、安定供給の体制を確立したいと思っております。「弥一芋はおいしい」と言われるのが私たちのささやかな喜びです。



開成弥一芋研究会 遠藤将光 会長

「弥一芋の復活」

そこで、平成23年度に遠藤将光さん（金井島）ほか有志の農家が、「弥一芋」を復活させるために「開成弥一芋研究会」を発足させました。同研究会は、神奈川県農業技術センターが系統保存していた種芋を譲り受けて作付けし、地域の特産品にしようと活動しています。

第26回 開成阿波おどり

産業振興課 ☎84-0317

9月14日（土）、町内7会場で第26回開成阿波おどりが開催されました。町内の自治会や事業所の連のほか、町外からも高円寺や大和など総勢22連、約千人が役場周辺の路上を練り歩きました。

総踊り

牛島連

上島紫粋連

下島連

ガトウ

アリガトウ

円中連

榎本連

下延沢連

中家村みどり連

河原町十字連

宮台連

金井島浮世連

上延沢連

入賞名	連名	
最優秀賞	開成町商工振興会賞	東林間伍楽連
優秀賞	開成町工場会賞	東林間連
奨励賞	さがみ信用金庫賞	上島紫粋連
審査員特別賞	開成町飲食店組合賞	円中連
	(株)明治ゴム化成賞	宮台連
	日本製紙クレシア(株)賞	風来連
	開成水辺フォレストスプリングス賞	河原町十字連
	湯本富士屋ホテル賞	南開連
	大塚食品(株)賞	金井島浮世連
アサヒビール(株)賞	中家村みどり連	